

SMART TeamWorksソフトウェア3.2

インストールおよび構成ガイド

ITアドミニストレータ対象



詳細

SMART TeamWorksのためのこのガイドおよび他のリソースは、SMART のウェブサイトのサポートセクション (smarttech.com/support) からご利用いただけます。お使いのモバイルデバイスでこのQRコードを読み取ると、リソースにアクセスできます。

商標表示

SMART Board、smarttech、SMARTロゴとすべてのSMARTキャッチフレーズは、SMART Technologies ULCの米国およびその他の国における商標または登録商標です。Re Mago Meeting Server (RMS)はアメリカ合衆国およびまたは他の国々におけるRe Mago Holding Ltd.の登録商標です。その他すべてのサードパーティの製品名および会社名は、それぞれ各社の商標である場合があります。

著作権表示

© 2019 SMART Technologies ULC. All rights reserved. SMART Technologies ULCの事前の書面による許可なく本書の一部または全部を複製、転載、頒布、ならびに形式、方法を問わず他言語へ翻訳することは禁止されています。本書の内容は予告なく変更される場合がありますが、SMART Technologiesが変更を約束するものではありません。

ここに記載された本製品やその使用方法は、以下の米国の特許によって保護されています。

www.smarttech.com/patents

06/2019

目次

第 1 章: ようこそ	1
SMART TeamWorks Room and Connectedエディションのインストール	1
インストールと構成のプロセスの概要	1
第 2 章: インストールの準備	3
コンピューターの必要条件	3
SMARTのハードウェア要件	4
ネットワークの準備状況	5
Microsoft Exchangeのサーバーへのミーティングルームのリソースアカウントの作成	11
コンピューターの構成	13
iQを伴うSMART Boardのインタラクティブディスプレイの構成	15
SMART TeamWorksのインストール	19
SMART TeamWorksのインストール	19
ライセンスのアクティベート	23
第 4 章: SMART TeamWorksの構成	25
設定画面へのアクセス	26
一般設定の構成	26
SMART TeamWorksのためのホワイトボードの設定の構成	30
SMART TeamWorksのランチャーの構成	33
ミーティングサーバーのサービスの構成	40
画面共有の有効化	41
音声コマンドの構成	43
サードパーティのツール	47
第 5 章: SMART TeamWorksのカスタマイズ	49
ランチャーのタイトルバーのロゴのカスタマイズ	49
ランチャーの背景のカスタマイズ	49
ランチャーのアプリのカスタマイズ	51

第 1 章 ようこそ

SMART TeamWorks Room and Connectedエディションのインストール	1
インストールと構成のプロセスの概要	1

このガイドでは、SMART TeamWorksのソフトウェアをインストールおよび構成する方法を説明します。これには SMART Product Drivers およびSMART Ink™も含まれています。

このガイドはITアドミニストレータとネットワーク環境でソフトウェアの展開および管理の経験を持った人物のみを対象としています。このガイドを使用するには以下の知識を有していなければなりません:

- 「レジストリ」および「ドメインコントローラ」などのIT用語の知識
- オペレーティングシステム内の基本的な管理タスクの知識
- Microsoft Exchangeの管理の知識

SMART TeamWorks Room and Connectedエディションのインストール

このガイドに記載されているインストーラーパッケージを使用してSMART TeamWorks Room and Connectedエディションをインストールすることができます。

SMARTのウェブサイトで利用可能な完全なインストーラーパッケージにはSMART TeamWorksのソフトウェアと、SMART Product Drivers、そしてSMART Inkが含まれています。

インストールと構成のプロセスの概要



ステップ1: インストールの準備

1. コンピューターがインストール要件を満たしている事をご確認ください。3 ページコンピューターの必要条件を参照してください。
2. ネットワーク準備状況における手引を確認してください。5 ページネットワークの準備状況を参照してください。
3. Microsoft® Exchangeのサーバー上でルームリソースのアカウントを構成してください。11 ページ *Microsoft Exchange* のサーバーへのミーティングルームのリソースアカウントの作成を参照してください。
4. ミーティングルームのコンピューターのために組織のIT環境内でユーザーアカウントもしくはドメインをセットアップし、無人コンピューターとしてそのコンピューターを構成してください。13 ページコンピューターの構成を参照してください。
5. SMART TeamWorksのために(Intel Compute Cardを持つ)iQを伴うSMART Board のインタラクティブディスプレイを構成してください。15 ページiQを伴うSMART Boardのインタラクティブディスプレイの構成を参照してください。

ステップ2: インストールとアクティベーション

1. SMART TeamWorksのソフトウェアをインストールしてください。19 ページSMART TeamWorksのインストールを参照してください。
2. ライセンスをアクティベートしてください。23 ページライセンスのアクティベートを参照してください。

ステップ3: エクスペリエンスの構成

1. SMART TeamWorksの設定を構成してください。25 ページSMART TeamWorksの構成を参照してください。

インストールの準備

コンピューターの必要条件	3
ミーティングルームのコンピューターの要件	4
SMARTのハードウェア要件	4
ネットワークの準備状況	5
依存関係の確認	5
SMART TeamWorksのインストールのためのネットワーク環境の準備	7
およびインターネットアクセス	7
ポート	7
プロキシサーバー	7
802.1X 認証	7
IP	8
SMART TeamWorksの画面共有機能のためのネットワーク環境のセットアップ	8
Microsoft Exchangeのサーバーへのミーティングルームのリソースアカウントの作成	11
コンピューターの構成	13
ネットワークへの接続	13
コンピューターの設定の最適化	13
一般的に使用されるアプリケーションのインストール	14
iQを伴うSMART Boardのインタラクティブディスプレイの構成	15
ファームウェアの更新のチェックと適用	15
iQソフトウェアの更新のチェックおよび適用	16
ディスプレイの構成	17



コンピューターの必要条件

このソフトウェアをインストールする前に、SMART TeamWorksのソフトウェアと、SMART Product Drivers、そしてSMART Inkのインストールを計画しているコンピューターが動作環境を満たしている事をご確認ください。

[Intel Compute Card \(AM50\)を備えたSMART iQ 装置](#)でSMART Board®インタラクティブディスプレイを使用している場合は、この装置はSMART TeamWorksのためのコンピューターの仕様要件の全てを満たしています。

ミーティングルームのコンピューターの要件

一般事項	
サポートされるオペレーティングシステム	Windows® 10 64-bit (Fall Creators Update 1803もしくはそれ以降)
	注記 Miracast™のサポートのためにはWindows version 1809が推奨されます。
ハードディスクの空き容量	1GB
プロセッサ	Intel® Compute Card i5 第7世代
RAM	8GB
保管温度	64 GB SSD (最小) 128 GB SSD (推奨)
他の要件	
USBサポート	USB 2.0 (最小) USB 3.0 (推奨)
ネットワークおよびウェブアクセス	SMARTのソフトウェアのダウンロードおよびインストールのためのアクセス 5 GHzの無線が推奨されます(Wi-Fi® 802.11acスタンダード) 有線イーサネット接続
プログラム	SMART InkのためのMicrosoft .NET Framework 4.5.1 OfficeのためのMicrosoft Visual Studio®ツール Adobe® Reader® 11.0.1 もしくはそれ以降 (SMART Inkのプラグインの場合)
Exchange Server	Exchange 2013 もしくはそれ以降 (オンプレミスもしくはオンライン)

SMARTのハードウェア要件

SMART TeamWorksをWindows10Proのオペレーティングシステムにインストールしている場合は([AM50 iQ 装置](#)の Intel Compute Card上で)、ハードウェアが以下の動作環境を満たしている事をお確かめください。

サポートされる SMART Boardのインタラク ティブディスプレイ	モデル	最低条件
iQを伴うSMART Board 7000 および 7000 Pro	すべて	ファームウェア: <ul style="list-style-type: none">Scalar firmware 6.1もしくはそれ以降 iQ装置 (AM50)のためのシステムソフトウェア: <ul style="list-style-type: none">3.0 system software version 3.0.127もしくはそれ以降
iQを伴うSMART Board 6000 および 6000 Pro	<ul style="list-style-type: none">SPNL-6265-V3SPNL-6365-V3SPNL-6275-V3SPNL-6375-V3 <hr/> ヒント <p>どのモデルを持っているかを確認するにはモデルの特定を参照してください。</p>	ファームウェア: <ul style="list-style-type: none">Scalar firmware 1.2.17もしくはそれ以降Touch firmware 2.3.0.4もしくはそれ以降 iQ装置 (AM50)のためのシステムソフトウェア: <ul style="list-style-type: none">3.0 system software version 3.0.127もしくはそれ以降

ネットワークの準備状況

このセクションではネットワークの準備状況の依存関係とセットアップのプロセスを説明します。ネットワークのアドミニストレータはSMART TeamWorksが適切に機能できるようにネットワークを構成する必要があります。

ネットワーク環境をセットアップするために、このセクションの情報を見直し、SMART TeamWorksのソフトウェアをインストールおよび構成するために必要な情報を集めてください。

依存関係の確認

SMART TeamWorksの機能がITインフラの内部で機能する事を確認するために、これらの依存関係をご確認ください。

機器管理のためにActive Directory および MDMを使用する場合

依存関係	説明
アクティブディレクトリ® もしくは Azure Active Directory (Azure AD)	<p>SMART TeamWorks のソフトウェアはMicrosoft Exchange および Skype® for Business servicesにアクセスするためにActive DirectorもしくはAzure AD のアカウント(ミーティングルームのアカウント)を使用します。</p> <p>SMART TeamWorksはミーティングルームのアカウントのクレデンシャル情報を検証し、アカウント情報(ディスプレイ名や、エイリアス、およびExchangeのサーバーなど)にアクセスするためには、Active Directory のドメインコントローラもしくはAzure AD のテナントに接続する必要があります。</p> <p>ユーザーのグループがSMART TeamWorksにおける設定を構成する事を承認するには、ドメインもしくはAzure ADでのSMART TeamWorksへの参加を使用してください。</p>
モバイル機器管理 (MDM)ソリューション (Microsoft Intune, System Center Configuration Manager, もしくはされるサードパーティーのMDMプロバイダー)	<p>あなたの組織がMDM ソリューションを持っている場合は、一度に複数の機器に設定を適用したり、遠隔でアプリをインストールしたりするために使用する事ができます。加えて、機器はそのMDM ソリューションに登録されていなければなりません。これによって、登録された全ての機器に対するSMART TeamWorksのアプリの中央開発が可能になります。</p> <p>あなたの組織のMDMのベストプラクティスを参照してください。</p>

Microsoft ExchangeのカレンダーをSMART TeamWorksと統合する場合

依存関係	説明
Exchange (Exchange Online, または Exchange 2013 もしくはそれ以降) および Exchange ActiveSync	<p>SMART TeamWorks はソフトウェアのとファイルサービス機能を可能にするためにExchangeと統合されます。また、これによってSMART TeamWorks のワンタッチミーティング開始機能も可能になります。</p> <p>ミーティングルームのアカウントのカレンダーをSMART TeamWorksのソフトウェアに同期させるためにExchange Web Service (EWS) が使用されます。ミーティングルームのコンピューターがEWSを使用できない場合は、SMART TeamWorksはランチャーにミーティングを表示せず、この統合カレンダーからミーティングを開始する事は出来ません。</p>

注記

Microsoft Office 365, Exchange on-premises, およびハイブリッド構成がサポートされています。

SMART TeamWorksのインストールのためのネットワーク環境の準備

およびインターネットアクセス

適切に機能させるには、SMART TeamWorksのソフトウェアには有線もしくは無線のネットワークへのアクセスが必要です。

注記

無線の干渉を減らし、画面共有のパフォーマンスを向上させるために、有線接続が強く推奨されます。

あなたの組織でインターネットへの完全なアクセスが許可されている無い場合は、ライセンスのアクティベーションを完了させるために以下のURLをホワイトリストに入れてください。

- ドメイン *remago.comを伴うあらゆるURL
- ドメイン *airserver.comを伴うあらゆるURL

ポート

SMART TeamWorksはコミュニケーションとコラボレーション機能を可能にするために以下のポートを使用します:

ポート	目的
80 および 443	<ul style="list-style-type: none">インターネットへのアウトバウンド接続の場合 <p>注記</p> <p>専用IPアドレスが強く推奨されます。</p>
8033	<ul style="list-style-type: none">ホワイトボードのセッションに接続するためにSMART TeamWorksのアプリを用いるミーティング参加者のインバウンド接続の場合。ミーティングルームのコンピューターのSMART TeamWorksからSMART TeamWorksのアプリを参加者がダウンロードできるようにしてください。

Skype for Business もしくは WebEx.Referなどのサードパーティーのウェブカンファレンスソリューションと共にSMART TeamWorksを使用している場合には、更なる手引のためのウェブカンファレンスソリューションの記録のために、追加のポートを開く必要があるかもしれません。

プロキシサーバー

あなたの組織のネットワークポロジがインターネットサービスを利用するためにプロキシサーバーへ接続する必要がある場合には、新しいコンピューターを初めて起動する際や、コンピューターのWindowsの設定の後ならいつでも接続を構成することができます。

プロキシのクレデンシャル情報はSMART TeamWorksの各ミーティングの各セッション全体に渡って保存され、設定をする必要があるのは1回だけです。

802.1X 認証

あなたの組織が802.1X 認証を使用している場合は、ミーティングルームのコンピューター上でこの認証のための証明書インストールする必要があります。

802.1X 認証は有線および無線の接続の両方でサポートされています。

In Windows 10のバージョン1803もしくはそれ以降では、有線および無線のための802.1X 認証はデフォルトでSMART TeamWorksのソフトウェアで有効になっています。あなたの組織が802.1X 認証を使用している場合は、認証の証明書がMDM ソリューションにおけるSMART TeamWorksのためにインストールされている事をお確かめください。

あなたの組織が802.1X 認証を使用していない場合は構成をする必要は無く、SMART TeamWorksのソフトウェアは通常通りに機能します。

802.1X認証のために証明書をインストールするには

[ClientCertificateInstall CSP](#)で提供されている手引に従って証明書をインストールしてください。

または

新しいコンピューターを初めて起動する際、もしくはコンピューターのWindowsの設定の後に証明書をインストールしてください。

SMART TeamWorksのために証明書がインストールされると、802.1X 認証が自動的にスタートします。

IP

SMART TeamWorksのソフトウェアはIPアドレスの割り当てのために静的IPだけでなくDHCPを使用するために構成することができます。静的IPが強く推奨されます。

SMART TeamWorksの画面共有機能のためのネットワーク環境のセットアップ

SMART TeamWorksのための画面共有機能を有効化するために以下のネットワークセットアップを使用してください。

1. アクセスポイント/APアイソレーションを無効化してください。クライアント / 無線アイソレーションもしくは ゲストモードとも呼ばれています。
2. ルーターの設定で、Multicast, Universal Plug and Play (UPnP), および Internet Group Management Protocol (IGMP)を有効化してください。
3. ビデオカードのリフレッシュレートを60Hzに設定されている事をお確かめください。
4. ネットワークのホワイトリストに以下のURLを追加してください:
 - ドメイン *remago.comを伴うあらゆるURL
 - ドメイン *airserver.comを伴うあらゆるURL
5. モバイル機器およびコンピューターが画面共有のためにApple AirPlay™, Google Cast™, および/またはMiracastを使用できるように必要なTCP/UDPポートを開いてください。

ポート	ポート範囲	特徴	使用目的:
TCP/UDP	53	DNS	Google Cast
TCP	80	アウトバウンド http	Google Cast
UDP	123	ネットワークタイムプロトコル	Google Cast
TCP	443	AirPlay, PhotoStream, iTunes Store	AirPlay, Google Cast
UDP	1900	Bonjour	AirPlay, Google Cast
TCP	3689	iTunes music sharing, AirPlay, Home Sharing	AirPlay
TCP	5000	音声ストリーミング	AirPlay
TCP	5297	Bonjour	AirPlay
TCP/UDP	5298	Bonjour	AirPlay
UDP	5350	Bonjour	AirPlay
UDP	5351	Bonjour	AirPlay
TCP/UDP	5353	mDNS, Bonjour, AirPlay, Home Sharing	AirPlay, Miracast
UDP	6010-6012	AirPlay の音声	AirPlay
TCP	7000	画像の共有	AirPlay
TCP	8000-8999	iTunes ラジオストリーミング	AirPlay, Google Cast
TCP	7001	動画ストリーミング	AirPlay
UDP	7010	ディスプレイのミラーリング	AirPlay
UDP	7011	ディスプレイのミラーリング	AirPlay
TCP	7100	ディスプレイのミラーリング	AirPlay
TCP/UDP	7236	交渉	Miracast
TCP	7250	動画ストリーミング	Miracast
TCP	42000-42999	iTunes ラジオストリーミング	AirPlay
TCP	47000	音声ネゴシエーション	AirPlay
TCP/UDP	49152-65535	ダイナミックポート	AirPlay, Google Cast
UDP	49159	Bonjour, AirPlay	AirPlay

ポート	ポート範囲	特徴	使用目的:
UDP	49163	Bonjour, AirPlay	AirPlay
TCP	49228	Google Cast	Google Cast
TCP/UDP	50000	交渉	Miracast
TCP	50259	Google Cast	Google Cast
UDP	54780	Google Cast	Google Cast
UDP	62572	Google Cast	Google Cast

6. ネットワークがBonjourとmDNS(マルチキャスト)をできるように設定します。
7. ネットワークタイムプロトコル(NTP)からインターネット時刻サーバーへの要求を許可するよう、ネットワークを設定します。

注記

5Hzの無線ネットワーク接続を使用すると画面共有のエクスペリエンスが向上する可能性があります。無線干渉を減らし、画面共有のパフォーマンスを向上させるには、ミーティングルームへの有線接続が推奨されます。

8. Windows Defenderのファイアウォールを用いた非常に複雑で安全な環境の場合には、プライベート / パブリック / ドメインのために`%systemroot%\System32\WUDFHost.exe`を除外してください。

注記

SMART TeamWorksをインストールすると、AirServerのためのオペレーティングシステムを最適化するためにスクリプトが実行され、このサーバーがSMART TeamWorksにおける画面共有を可能にします。

Microsoft Exchangeのサーバーへのミーティング ルームのリソースアカウントの作成

新しいミーティングルームのリソースを追加するにはMicrosoft Office 365のAdmin centerを使用してください。

! 重要事項

このステップはあなたの組織のIT アドミニストレータもしくはMicrosoft Exchangeの管理担当者によって実行されるべきです。

ミーティングルームのリソースアカウントを作成するには

1. Microsoft Office 365のadmin centerを開いてください。
2. リソース > ルーム & 器具をブラウザしてください。
3. 追加をクリックし、ミーティングルームのリソースアカウントを作成するために画面上の指示に従ってください。
4. 新しいアカウントのために以下の詳細を記録してください:
 - 名前
 - 電子メール

SMART TeamWorks Connectedエディションのソフトウェアを構成する際には、これらの詳細が必要になります。

5. ユーザー > アクティブなユーザーをブラウザし、作成したルームを選択してください。
6. パスワードをリセットをクリックしてください。
7. パスワードの作成と新しいパスワードの入力を選択してください。
8. このユーザーが最初にサインインした際にパスワードを変更させるのチェックボックスを外してください。
9. リセットをクリックしてください。
10. ミーティングルームのアカウントからSkype for Businessにログインする必要がある場合には、製品ライセンスのオプションを通じてルームリソースのアカウントに関連したライセンスをアクティベートしてください。

このルームリソースのアカウントのアクセス権レベルはデフォルトの最低レベルである必要があります。このアカウントを特別なグループに追加したり、特定の役割に割り当てる必要はありません。
11. PowerShellのコンソールを開き、Microsoft Online Serviceのセッションを開始してください。

12. セッション内で以下のコマンドを実行してください:

機能	コマンド
SMART TeamWorksのカレンダー内におけるミーティングの議題の表示	<pre>Set-CalendarProcessing -Identity "Room ID" -AddOrganizerToSubject 0</pre> <pre>Set-CalendarProcessing -Identity "Room ID" -DeleteSubject 0</pre> <p>デフォルトでは、ミーティングの議題には組織名が含まれています。ですが、実際のミーティングの議題を入力する必要があります。</p>
ミーティングルームのリソースリストの作成	<pre>New-DistributionGroup -Name "Room List ID" -DisplayName "Room List Friendly Name" -PrimarySmtpAddress roomlist1@domain.com -RoomList</pre>
ミーティングルームのリソースリストへの新たなミーティングルームのリソースアカウントの追加	<pre>Add-DistributionGroupMember -Identity "Room List ID" -Member "Room ID"</pre>

上記のコマンドを実行するには、以下のコマンドを実行する必要があるかもしれません:

機能	コマンド
全てのミーティングルームのリソースリストの取得	<pre>Get-Mailbox Where-Object {\$_.RecipientTypeDetails -eq "RoomMailbox"} Format-Table DisplayName,Identity,PrimarySmtpAddress</pre>
全てのミーティングルームのリソースリストのリストを取得	<pre>Get-DistributionGroup Where {\$_.RecipientTypeDetails -eq "RoomList"} Format-Table DisplayName,Identity,PrimarySmtpAddress</pre>

コンピューターの構成

ソフトウェアをインストールする前にSMART TeamWorksのためにミーティングルームのコンピューターを正しく構成する事が重要です。以下のセクションでは、SMART TeamWorksのためのオペレーティングシステムの最善の準備方法が説明されます。

SMART TeamWorksはオペレーティングシステムをキオスクとして構成する事をサポートするか、ユーザーに対してコンピューターのデスクトップにする前にアカウントのクレデンシャル情報を使ってログインする事を求めます。

ネットワークへの接続

ディスプレイの反応性を最大化するには、SMARTではミーティングルームのコンピューターを有線接続を用いて組織のローカルエリアネットワークに接続する事が推奨されます。

有線接続が利用できない場合でも無線接続もサポートされています。ですが、無線接続を使用する際は、SMARTではパフォーマンスを最適化するためにミーティングルームのコンピューターで使用されていない全てネットワーク機器を無効化する事が推奨されます。

コンピューターの設定の最適化

SMART TeamWorksのソフトウェアインストーラはWindows10のオペレーティングシステムやコンピューターのBIOSのオプションを自動的に構成しません。ネットワークのセキュリティのセットについては5ページネットワークの準備状況を読む事が重要です。3ページコンピューターの必要条件に記載されている動作環境をコンピューターが満たしている事をご確認ください。

ハブとして利用するためにコンピューターの設定を最適化するには

1. コンピューターの設定画面を開いてください。
2. システム > 通知 & アクションを選択してください。
3. 全てのシステムの警告と通知を無効化してください。
4. 電力 & スリープを選択してください。

5. 以下の電力管理設定を使用してください:

- スクリーンセーバーの無効化
- コンピューターがスタンバイモードにならないようにするための設定
- コンピューターがログアウトしないようにするための設定
- 画面の電源が切れないようにするための設定

注記

また、こういった設定の多くはMicrosoft WindowsのネイティブのPowercfgユーティリティなどのコマンドラインユーティリティで管理することもできます。コマンドラインのオプションのリストについては[Powercfg Command-Line Options](#)を参照してください。

また、Windows Group Policyを用いてこれらの設定を構成することもできます。[Windows and Windows ServerのためのGroup Policy Settings Reference](#)などのGroup policyのレファレンスは、このステップに記載されている電源管理設定に対して適切な設定を見つける上で役立つ可能性があります。

設定可能なポリシー構成オプションのいくつかの例には以下のようなものが含まれます:

- 「スクリーンセーバーの有効化」を「無効」に設定するとスクリーンセーバーが起動しないようにできます。
- 「操作されなかった場合のスリープまでの時間の指定」を「0」に設定すると、OSが自動的にスリープ状態にならないようにできます。

6. コンピューター上の主要なWindowsの更新のための自動を無効化してください。コンピューター上のWindowsの自動セキュリティパッチの自動更新は有効にしたままにできます。

SMART TeamWorksによってサポートされる最新のWindowsのバージョンについては、3 ページ [コンピューターの必要条件](#)を参照してください。

7. コンピューターのBIOS のセットアップを入力してください。

8. ブートシーケンスのために使用されていないブート機器をすべて無効化してください。例えば、PXEネットワークブートやUSB取り外し可能機器ブートなどです。

9. 構成の変更を保存し、BIOSのセットアップユーティリティを終了してください。

一般的に使用されるアプリケーションのインストール

ユーザーがSMART TeamWorksのホワイトボードにファイルを挿入できるようにするには、ファイルのネイティブのアプリケーションがミーティングルームのコンピューターにインストールされていなければなりません。例えば、ユーザーがMicrosoft Office およびAdobe PDFなどのプログラムのファイルを挿入したり、そういったファイルとやり取りしたりするには、これらのアプリケーションがインストールされていなければなりません。

iQを伴うSMART Boardのインタラクティブディスプレイの構成

INTEL Compute Cardを搭載したAM50 iQ装置を持つSMART BoardのインタラクティブディスプレイにSMART TeamWorksをインストールする場合は、提供されるテキストレスなインストール手順とディスプレイのインストールおよびメンテナンスガイドに従ってください。

インストールの最中は、ディスプレイが最新のScalarのファームウェア持ち、AM50 iQ装置のシステムソフトウェアがインストールされている事をお確かめください。ファームウェアとシステムソフトウェアが最新のものでない場合は、ディスプレイは想定通りに機能しない可能性があります、SMART TeamWorksと他のソフトウェアのいくつかの機能が利用できない可能性があります。

ファームウェアの更新のチェックと適用

SMART Boardのディスプレイはそのプロセッサ上でファームウェアを使用します。SMART TeamWorksには以下のファームウェアのバージョンが必要です：

ディスプレイ	モデル番号	ファームウェアの必要最低バージョン
SMART Board 7000 および 7000 pro	すべて	<ul style="list-style-type: none">Scalar firmware 6.1 もしくはそれ以降
SMART Board 6000 および 6000 Pro	<ul style="list-style-type: none">SPNL-6265-V3SPNL-6365-V3SPNL-6275-V3SPNL-6375-V3	<ul style="list-style-type: none">Scalar firmware 1.2.17もしくはそれ以降Touch firmware 2.3.0.4もしくはそれ以降
ヒント どのモデルを持っているかを確認するには モデルの特定 を参照してください。		

注記

上記の表ではSMART TeamWorksのソフトウェアのための最小限のファームウェア要件が示されています。SMART では利用できる最新のバージョンを常にインストールする事が推奨されます。

ファームウェアの更新が利用可能な場合には、ディスプレイがバックグラウンドで更新をダウンロードし、4時間の無活動状態を待機します。インストール実行前には2分間のカウントダウンが表示されます。カウントダウンはいつでも停止できます。カウントダウンが終了すると更新が開始します。

ディスプレイの現在のファームウェアのバージョンをチェックするには

- SMART Boardのインタラクティブディスプレイを有効化してください。
- ホーム  をタップし、その後、設定  をタップしてください。

3. システム設定下でバージョン情報をタップしてください。

現在のシステムソフトウェアのバージョンがボードの詳細のエリア内のビルド番号の下に表示されます。

ディスプレイのファームウェアを更新するには

1. support.smarttech.com/downloads/other-hardware/displaysにアクセスしてください。
2. あなたのディスプレイを選択してください。
3. 最新のファームウェアのバージョンを選択してください。
4. ダウンロードページの指示に従ってください。

iQソフトウェアの更新のチェックおよび適用

ディスプレイがインターネットに接続すると、システムソフトウェアが自動的に更新されます。

システムのソフトウェアの更新が利用可能な場合、ディスプレイがバックグラウンドで更新をダウンロードした後、4時間の無活動状態を待機します。これが発生した場合は、ディスプレイは更新が開始される前に2分間のカウントダウンを表示します(このカウントダウンはいつでも中断できます)。更新の最中はディスプレイには4分間なにも写りません。更新が完了すると、ディスプレイはホワイトボードと更新前にホワイトボードに表示されていた内容が表示されます。

注記

設置場所のネットワークを使用して、システムソフトウェアの自動アップデートを実行させないように設定することができます。

また、[smarttech.com/downloads/iq-appliance](https://support.smarttech.com/downloads/iq-appliance)でシステムソフトの更新をダウンロードする事もできます。そしてダウンロードページの指示に従ってください。

ディスプレイがシステムソフトウェアの更新プログラムをダウンロードし、更新プログラムをまだ適用していない場合は、設定メニューから更新プロセスを手動で開始することができます。

iQ装置のソフトウェア更新のチェックおよび適用をするには

1. SMART Boardのインタラクティブディスプレイを有効化してください。
2. ホーム  をタップし、その後、設定  をタップしてください。
3. 自動更新までスクロールします。
4. 今すぐ更新をチェックをタップしてください。

重要事項

更新とインストールをチェックするにはネットワーク接続が必要です。

5. 更新が利用できる場合は、**今すぐ更新を適用**を**今すぐ更新**をチェックの下でタップしてください。

ディスプレイの構成

インストールおよびメンテナンスガイドの指示に従ってディスプレイの構成を完了してください:

- SMART Board 7000 および 7000 pro のインストールおよび構成ガイド
(smarttech.com/kb/171164)
- SMART Board 6000 および 6000 pro インストールおよび構成ガイド
(smarttech.com/kb/171167)

第3章

SMART TeamWorksのインストール

SMART TeamWorksのインストール	19
ライセンスのアクティベート	23



SMART TeamWorksのインストール

❗ 重要事項

SMART TeamWorksのための構成ファイルは、ソフトウェアが最初に起動された際にコンピューターにログインしているユーザーのアカウントに基づいて書かれます。ドメインのアドミニストレータのアカウントなどの異なるアカウントが、SMART TeamWorksのためのコンピューターを構成したり、SMART TeamWorksのソフトウェアをインストールするために使用される可能性があります。初めてソフトウェアを起動し、アクティベートする前に、アドミニストレータのアカウントからログアウトし、その後にファイルの許可が適切に書かれるために、ミーティングルーム用に作成されたユーザーアカウントを用いてログインし直さなければなりません。

インストール前のチェックリスト

SMART TeamWorksが予定通りに機能するようにするには、SMART TeamWorksをダウンロードおよびインストールする前に以下の事柄が完了している事をご確認ください:

- コンピューターは動作環境を満たす必要があります。3 ページコンピューターの必要条件を参照してください。
- SMART Boardのインタラクティブディスプレイはネットワークに接続されており、最新のファームウェアとiQソフトウェアがインストールされています。15 ページiQを伴うSMART Boardのインタラクティブディスプレイの構成を参照してください。
- ネットワークアドミニストレータによって適切なアクセスがセットアップされました。具体的には以下の通りです:
 - 各ウェブサイトがホワイトリストに入れられました
 - ネットワークのポートが開かれましたどのウェブサイトがホワイトリストに入れられ、どのポートが開かれる必要があるかについての完全な詳細は5 ページネットワークの準備状況を参照してください。
- IT アドミニストレータはSMART TeamWorksのミーティングルームのために組織のExchange サーバー上に新たなルームのリソースを構成しました。11 ページMicrosoft Exchange のサーバーへのミーティングルームのリソースアカウントの作成を参照してください。
- IT アドミニストレータは SMART TeamWorksのためにコンピューターのオペレーティングシステムを構成しました。13 ページコンピューターの構成を参照してください。

SMART TeamWorksのソフトウェアをインストールするには

1. home.smarttech.com/interactive-displays-for-business/teamworks/downloadにアクセスしてください。
2. SMART TeamWorks .exeのダウンロードファイル
3. インストールウィザードを開始するには実行可能ファイルを起動してください。
4. 規約と条件に同意し、次へをクリックしてください。
5. SMART TeamWorksがインストールされる場所がデフォルトと異なる場合には、インストール先を入力し、次へをクリックしてください。

6. インストールするコンポーネントを選択し、次へをクリックしてください。

コンポーネント	説明
SMART TeamWorks	必要なコンポーネント
SMART 製品ドライバー	SMART Boardのインタラクティブディスプレイと共にSMART TeamWorksを使用する際に必要なコンポーネント。 これはSMART Ink および Product Driversのソフトウェアをインストールします。
デモサンプル	任意のコンポーネント これはPDF、動画、PPT、および画像ファイルを含むいくつかのデモファイルをインストールします。

7. **インストール**をクリック、*SMART Ink* および *Product Drivers* のインストーラーを起動してください。
8. SMART Ink およびProduct Driversのソフトウェアをインストールするには画面上の指示に従ってください。SMART Ink およびProduct Driversのインストールが完了すると、SMART TeamWorksインストールウィザードに戻ります。
9. ユーザーがログオンしたり、コンピューターを再起動したときにSMART TeamWorksを自動的に起動するには、**SMART TeamWorksをで起動**のチェックボックスを選択してください。

10. **完了**をクリックしてください。インストールを完了するためにSMART TeamWorksがコンピューターの再起動を求める場合があります。インストールが完了すると完了画面が開きます。あなたの状況に適合するシナリオのためにインストールを完了してください。
 - a. アドミニストレータのアカウントを用いてコンピューターにログインしている場合は、**SMART TeamWorksを起動**のチェックボックスを外し、**完了**をクリックしてください。
 - b. アドミニストレータのアカウントからログアウトし、ミーティングルームのために作成されたユーザーアカウントを用いてログインし直してください。

 **重要事項**

初めてSMART TeamWorksのソフトウェアを起動する際には、SMART TeamWorksのためのファイルの許可はコンピューターにログインしたユーザーアカウントに基づいて設定されます。つまり、アドミニストレータもしくはコンピューターの構成のために使用した他のアカウントタイプでログインし続けている場合は、初めてソフトウェアを起動しても、ソフトウェアの設定を閲覧および変更する許可を持つのはユーザーアカウントのみです。こういった設定にはミーティングの参加者に閲覧させたい場合があるような基本的なユーザー設定のいくつかが含まれています。この設定をロックする必要がある場合には、設定画面のパスワードの欄を使用してください。

- c. SMART TeamWorksを起動してください。

または

- a. ミーティングルームのために作成したアカウントを用いてコンピューターにログインしている場合は、**SMART TeamWorksを起動**のチェックボックスを選択し、**完了**をクリックしてください。
11. ライセンスをし、SMART TeamWorksのソフトウェアを構成してください。23 ページライセンスのアクティベートと25 ページSMART TeamWorksの構成を参照してください。

注記

ソフトウェアの構成の最中は、ユーザーに変更をさせないようにPINでソフトウェアの全ての設定をロックする事ができます。

ライセンスのアクティベート

! 重要事項

ライセンスをアクティベートするにはインターネットに接続している必要があります。あなたの組織でインターネットへの完全なアクセスが許可されていない場合は、ライセンスのアクティベーションを完了させるために以下のURLをホワイトリストに入れてください。

- ドメイン *remago.comを伴うあらゆるURL
- ドメイン *airserver.comを伴うあらゆるURL

SMART TeamWorksのライセンスのアクティベート

1. Windowsの日付と時間の設定が正しい事をお確かめください。
2. このプログラムを起動するにはデスクトップのSMART TeamWorksのアイコンをクリックしてください。

ライセンスのアクティベーション画面が開きます。
3. このソフトウェアを購入した後に受け取ったウェルカム電子メールに記載されたライセンスキーを入力してください。

注記

このライセンスキーがアクティベートされる SMART TeamWorksのエディションを決定します。

4. **ライセンスをアクティベート** のボタンをクリックしてください。

SMART TeamWorksのトライアルを開始するには

1. Windowsの日付と時間の設定が正しい事をお確かめください。
2. このプログラムを起動するにはデスクトップのSMART TeamWorksのアイコンをクリックしてください。

ライセンスのアクティベーション画面が開きます
3. **トライアルの開始** のボタンをクリックしてください。

注記

SMART TeamWorksでは30日間のトライアルが提供されています。このトライアルはインストールされているコンピューターのマシンIDと関連付けられています。従って、このトライアル期間がオペレーティングシステムを再インストールによる影響を受ける事はなく、開始された日付からのカウントダウンが継続されます。

第 4 章

SMART TeamWorksの構成

設定画面へのアクセス	26
パスワードによる設定の保護	26
一般設定の構成	26
言語の設定	27
デフォルトの画像検索エンジンの設定	27
ファイルアクセスの設定	28
デフォルトの電子メールアドレスの設定	28
SMART TeamWorksのためのホワイトボードの設定の構成	30
SMART TeamWorksのランチャーの構成	33
ランチャーの一般設定の構成	33
キオスクモードのためのランチャーの構成	35
SMART TeamWorks Room and Connected エディションのためのランチャーのカレンダー設定 の構成	36
SMART TeamWorks Serverのクレデンシャル情報を持つ SMART TeamWorks Connected エディションのためのランチャーのカレンダー設定の構成	37
カレンダー情報のカスタマイズ	38
ミーティングサーバーのサービスの構成	40
画面共有の有効化	41
音声コマンドの構成	43
言語設定の変更	44
マイクのセットアップと有効化	45
サードパーティのツール	47



設定画面へのアクセス

設定画面では以下の事柄を構成する事ができます:

- 一般の設定
- SMART TeamWorksのランチャー
- ホワイトボードのオプション
- ミーティングサーバーの設定
- 画面共有
- 音声コマンド

設定画面を開くには

1. ランチャーからをタップしてください。

または

キーボードの**ALT + S**を押してください。

または

Windowsの通知エリアからSMART TeamWorksのアイコンを右クリックし、**設定**を選択してください。

パスワードによる設定の保護

アドミニストレータにしか変更ができないようにSMART TeamWorksの設定をロックするためにパスワードを追加してください。設定をロックするとユーザーがライセンスキーの情報にアクセスしたり、Outlookのカレンダー統合設定や、サーバーサービス、およびこの画面で構成された他の設定を変更したりする事ができなくなります。

設定をロックするには

1. 設定画面から**設定**のタブを開いてください。
2. 設定をロックするためにこの画面の**保護**のボックス内にパスワードを入力してください。

一般設定の構成

ミーティングの要約や、画像検索、およびSMART TeamWorksのミーティングにおける作業のブラウザなどの特定の機能のコントロール方法のための一般設定を構成してください。

以下の項目を構成するには**設定**のタブのオプションを使用してください。

- インターフェースの言語
- 画像検索のためのデフォルトの検索エンジン
- ホワイトボードのミーティングの要約とファイルを保存するためのフォルダーアクセス

- デフォルトの電子メール情報(SMTP設定)
- SMART TeamWorks Serverの詳細(RMS設定)

注記

このサーバーの詳細は、あなたの組織がSMART TeamWorks ServerをSMART TeamWorks Connectedエディションでインストールしている場合にのみ適用されません。これらの詳細はランチャーのタブにカレンダー設定を入力した後に自動的に更新されません。

言語の設定

1. **設定画面**から**設定**のタブを開いてください。



2. **一般設定**のセクションで**インターフェースの言語**のドロップダウンから言語を選択してください。
3. **変更**を適用するにはSMART TeamWorksを再起動してください。

デフォルトの画像検索エンジンの設定

1. **設定画面**から**設定**のタブを開いてください。
2. **設定**のセクションでニーズに合わせて以下のプリファレンスを設定してください:

オプション	説明
画像検索エンジン	ホワイトボードで使用したい検索エンジンを選択してください。BingもしくはGoogleのいずれかを選択できます。
画像検索エンジンのキー	あなたの組織がMicrosoft Azure もしくは Google Cloudのアカウントを持っている場合は、サブスクリプションのためのシリアルキーを入力してください。

この設定は自動的に保存されます。

ファイルアクセスの設定

1. [設定画面](#) から設定のタブを開いてください。
2. 設定のセクションでニーズに合わせて以下のプリファレンスを設定してください：

オプション	説明
メインと拡張ディスプレイの記録	ミーティングルームのコンピューターが複数のディスプレイに接続されている場合は、ミーティングの参加者がSMART TeamWorksの記録機能を使用する際に、SMART TeamWorksでメインと拡張ディスプレイの両方を記録できるように、このオプションを選択してください。
ファイルマネージャー内でのマイドキュメントの表示	ホワイトボードのファイルマネージャー内でミーティングルームのコンピューターのマイドキュメントのフォルダーの表示を選択してください。
マイドキュメントのフォルダー内での要約の保存の許可	コンピューターのローカルのマイドキュメントのフォルダーにホワイトボードのミーティングの要約を保存する事を SMART TeamWorks に許可するために、このオプションを選択してください。
全てのストレージ機器への要約の保存の許可	ミーティングルームのコンピューターに接続されたUSBドライブなどの全てのストレージ機器へホワイトボードのミーティングの要約を SMART TeamWorks が保存する事を許可するために、このオプションを選択してください。
	注記 これらの機器への書き込みアクセスが必要です。
ファイルマネージャー内の全てのストレージ機器の表示	ファイルマネージャー内でミーティングルームのコンピューターに接続されている全てのストレージ機器の表示を選択してください。
	注記 これらの機器への書き込みアクセスが必要です。
ホワイトボードのセッションの終了後のブラウザキャッシュのクリア	ホワイトボードのセッションが終わるたびにブラウザのキャッシュをクリアするには、このオプションを選択してください。

デフォルトの電子メールアドレスの設定

以下の場合にSMART TeamWorksのソフトウェアが使用するデフォルトの電子メールアドレスを設定してください：

- ホワイトボードのセッションの要約の送信
- ホワイトボードに追加されたオブジェクト(画像やファイルなど)の送信
- ホワイトボードのセッションのURLの共有 (SMART TeamWorks Serverが組織でインストールされている場合のみ)

ミーティングルームのデフォルトの電子メールアドレスを構成するには

1. [設定画面](#) から **設定** のタブを開いてください。
2. **SMTP設定** のセクションでニーズに合わせて以下のプリファレンスを設定してください:

オプション	説明
デフォルトの電子メール送信者	ミーティングルームのための電子メール、もしくはあなたの組織がSMTP設定のために作成したアカウントを入力してください。 これは電子メールがSMART TeamWorksのホワイトボードから送信された場合に送信者として表示されます。
パスワード	デフォルトの電子メール送信者の欄に入力した電子メールのためにExchangeのパスワードを入力してください。
SMTP Server	デフォルトの電子メール送信者の欄に入力した電子メールアドレスのためにSMTPサーバーを入力してください。
SMTP Port	あなたの組織のSMTPサーバーのためのポートを入力してください。
SSLの使用	あなたの組織がSSLを使用している場合は、このオプションを選択してください。

この設定は自動的に保存されます。

3. 入力した設定が正しい事を確かめるために **接続をテスト** をクリックもしくはタップしてください。

SMART TeamWorksのためのホワイトボードの設定の構成

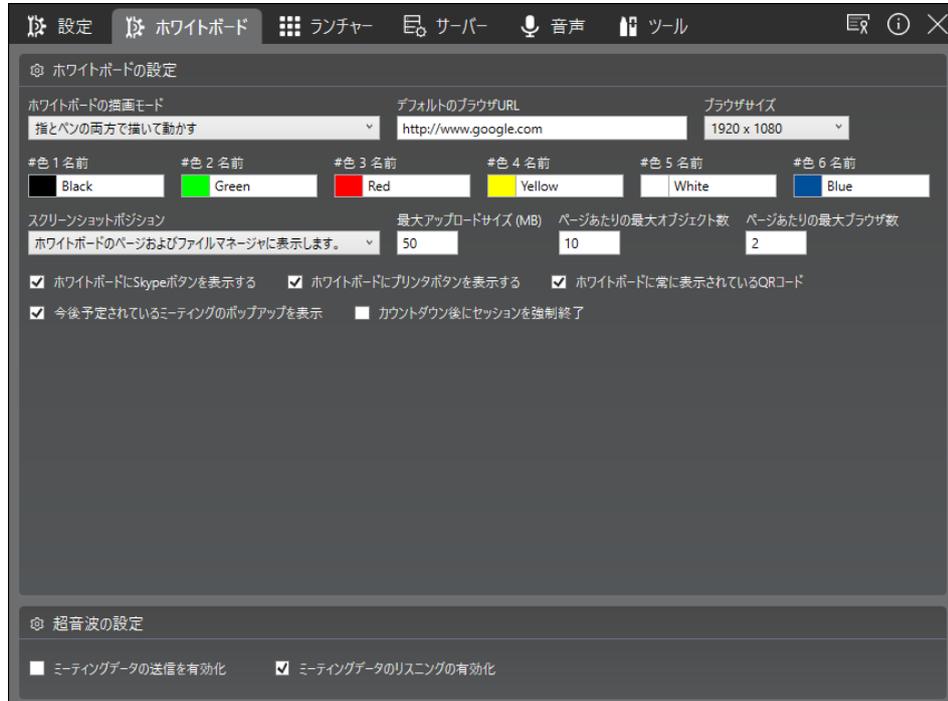
ミーティングの要約や、画像検索、およびSMART TeamWorksのミーティングにおける作業のブラウザなどの特定の機能のコントロール方法のためにホワイトボード設定を構成してください。

以下の項目を構成するためにホワイトボードのタブ内のオプションを使用してください。

- 描画モードの設定
- ディスプレイの拡張設定
- 画像検索のためのデフォルトの検索エンジン
- デフォルトのブラウザサイズと各ホワイトボードのページ内で許可されるブラウザの最大数
- アップロードされるファイルの最大サイズ
- 各ホワイトボードのページに挿入可能なオブジェクト(ファイルや、画像、動画、ブラウザなど)の最大数
- 超音波ペアリング

ホワイトボードのオプションを構成するには

1. [設定画面](#) からホワイトボードのタブを開いてください。



2. [ホワイトボードの設定](#)のセクションでニーズに合わせて以下のプリファレンスを設定してください:

オプション	説明
ホワイトボードでの描画モード	<p>ドロップダウンを開き、お好みのペンおよびタッチの操作の挙動を選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指マークとペンを使った描画および移動: デジタルインクで描画するために指マークとペンを使い、ホワイトボード内のオブジェクトを操作しましょう。このオプションを選択すると、ホワイトボード内に描画モード  とタッチモード  のボタンが表示されます。 ペンでの描画および指マークでのオブジェクトの移動: ホワイトボードへデジタルインクを追加するにはペンのみを使用し、ホワイトボード内のオブジェクトを操作するには指マークのみを使用してください。このオプションを選択すると、描画モード  とタッチモード  のボタンはホワイトボードから隠されます。
デフォルトのブラウザのURL	<p>ミーティングの参加者がホワイトボードのページにブラウザのオブジェクトを追加する際のデフォルトのページとして使用したいURLを入力してください。</p>
ブラウザのサイズ	<p>ブラウザのオブジェクトのためのデフォルトのブラウザを選択してください。</p> <p>ミーティングの参加者がホワイトボードにブラウザを挿入すると、選択した寸法で挿入される事になります。</p>
色のオプション	<p>異なる色を選択するには色の四角をタップし、選択した新しい色の名称を入力してください。</p> <p>これはホワイトボード内で利用できるペンの色のオプションをカスタマイズします。</p>
スクリーンショットの位置	<p>スクリーンショットの保存方法を選択してください。スクリーンショットの保存はホワイトボードおよびファイルマネージャーの両方、ホワイトボードのページのみ、もしくはファイルマネージャーのみのいずれかをから選択できます。</p>
最大アップロードサイズ(MB)	<p>ファイルの最大アップロードサイズの値をメガバイト(MB)で入力してください。これはミーティングの参加者がホワイトボードに挿入できるファイルのサイズをコントロールします。</p>
ページあたりの最大オブジェクト数	<p>ミーティングの参加者がホワイトボードに挿入できるファイルや、動画、ブラウザ、および画像などのオブジェクトの最大数の値を入力してください。</p>
ページあたりの最大ブラウザ数	<p>ミーティングの参加者がホワイトボードに挿入できるブラウザのオブジェクトの最大数の値を入力してください。</p>
ホワイトボード内でのSkypeのボタンの表示	<p>ホワイトボード内でSkypeのボタン  の表示を選択してください。</p>

オプション	説明
ホワイトボード内でのプリンターのボタンの表示	ホワイトボード内でプリンターのボタン  の表示を選択してください。
ホワイトボード内にQRコードを常に表示する	ミーティングの参加者がホワイトボードへ接続するために使用できるQRコード  を常に表示するを選択してください。
今後予定されているミーティングのポップアップを表示	ルーム内の今後のミーティングの参加者に通知するためにポップアップ通知を選択してください。
カウントダウン後にセッションを強制終了	次に予定されたミーティングが開始されようとしている際に、現在のホワイトボードのセッションをSMART TeamWorksが参加者に終了させるためのオプションを選択してください。

この設定は自動的に保存されます。

超音波ペアリングを設定するには

1. 前の手順で開いていない場合は、設定画面でホワイトボードのタブを開いてください。
2. 超音波設定のセクションでニーズに合わせて以下の設定を使用してください:

オプション	説明
ミーティングデータの送信を有効化	ミーティングルームへの超音波の送信の有効化を選択してください。これはミーティングルームのインタラクティブディスプレイのスピーカーが、機器がホワイトボードのセッションに接続するために使用できる超音波の音声信号を送信する事を可能にします。
ミーティングデータのリスニングの有効化	ミーティングルームのための超音波の受信を有効化してください。これはのインタラクティブディスプレイに接続されたマイクが他の機器から送信された超音波を拾う事を可能にします。

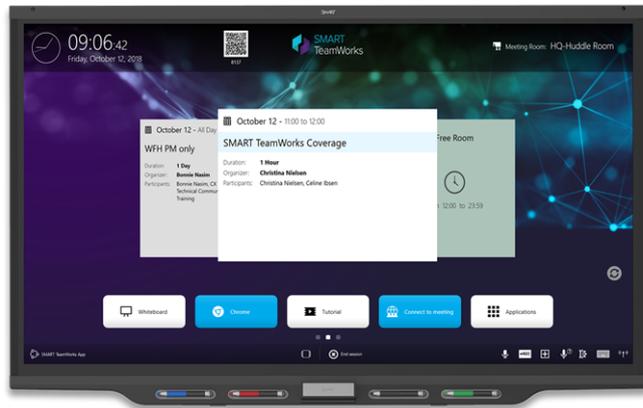
注記

- 超音波ペアリングはミーティング参加者がホワイトボードのセッションに参加する事を可能にするデータしか送信しません。このタイプの信号では他のデータは共有されません。
- 超音波ペアリングを使用するには参加者はミーティングルームにいなければなりません。
- 超音波ペアリングは17.5 kHz から 20 kHzの範囲の周波数を使用します。スピーカーがこの周波数の範囲をサポートできない場合は、高い音が聞こえる場合があります。これが発生した場合は、必要な周波数の範囲を持つスピーカーを使用するか、超音波ペアリング機能を無効化してください。

この設定は自動的に保存されます。

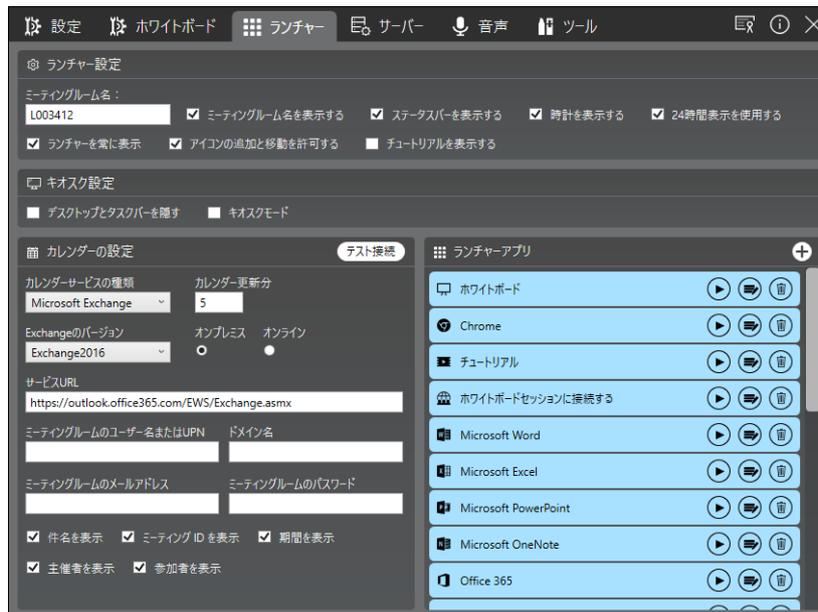
SMART TeamWorksのランチャーの構成

SMART TeamWorksが開始されるとランチャーが開きます。ランチャー内では、そのルームで予定されているミーティングを閲覧したり、アプリケーションを起動したり、SMART TeamWorksのホワイトボードを使用したり、他の多くのタスクを実行したりできます。

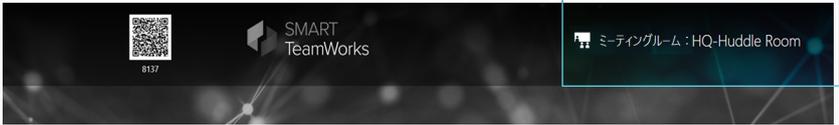


ランチャーの一般設定の構成

1. 設定画面画面からランチャーのタブを開いてください。



2. ランチャーの設定のセクションで以下のオプションを設定してください:

オプション	説明
ミーティングルームの名称	<p>ランチャーのタイトルバーに表示されるミーティングルームの名称を入力してください。</p>  <p>この名称はオペレーティングシステムで定義されたコンピューターの機器の名称のデフォルトとなります。新しい名称を入力すると、コンピューターの機器の名称への変更を確認するように促されます。また、ここで表示される名称には、参加者が各々の機器から画面共有を使用する際に接続できる機器のリストも表示されません。</p> <p>または</p> <p>コンピューターの機器の名称への変更を許可しない場合は、上の画像で示されているミーティングルームの名称のみが変更されます。この名称は参加者が画面共有のために接続を試みる際に見るものとは一致しません。</p> <p>SMARTは、ここで使用する名称をコンピューターの機器の名称と一致させる事を推奨しています。これによって、ミーティングの参加者が各々の機器の画面を共有する際に、このディスプレイを簡単に選択できるようになります。</p>
ミーティングルームの名称の表示	<p>ランチャーのタイトルバーにミーティングルームの名称を表示する事を選択してください。</p>
ステータスバーを表示する	<p>ランチャーのステータスバーを表示するためにオプションを設定してください。</p> 
時計の表示	<p>ランチャーに現在の日付と時間を表示するためにこのオプションを選択してください。</p> 
24時間方式の使用	<p>24時間方式で時間を表示するためにこのオプションを選択してください。</p>
ランチャーを常に表示	<p>SMART TeamWorksの実行時に常にランチャーを表示させておくためにこのオプションを選択してください。</p>

オプション	説明
アイコンの追加および移動の許可	ユーザーがランチャー内で移動できるようにするためにこのオプションを選択してください。ユーザーはランチャー内の新しい位置にアプリをドラッグするために、アプリを押しっぱなしにできます。
チュートリアル表示	ランチャー内での画面共有とホワイトボードの使用のためのSMART TeamWorksのチュートリアルを表示するには、このオプションを選択してください。
チュートリアルをホームページとして設定	SMART TeamWorksのチュートリアルをランチャーの最初の画面に表示させるには、このオプションを選択してください。このオプションを選択した場合にミーティングの参加者がホーム画面を見るには、左側にスワイプします。

キオスクモードのためのランチャーの構成

ミーティングルームのコンピューターをキオスクスタイルのコンピューターにセットアップしたい場合は、以下のSMART TeamWorksを構成するための手順で記述されているオプションを使用してください。

キオスクモードのためにランチャーを構成するには

1. **設定画面**画面からランチャーのタブを開いてください。
2. キオスク設定のセクションで以下のオプションを設定してください:

オプション	説明
デスクトップおよびタスクバーを隠す	SMART TeamWorksの実行時にWindowsのデスクトップおよびタスクバーを隠すには、このオプションを選択してください。
ステータスバーにWindowsアイコンを表示	ランチャーのステータスバーにWindowsのスタートボタンを表示するには、このオプションを選択してください。
	
	<p>注記</p> <p>このオプションはデスクトップおよびタスクを隠すのオプションを選択している場合しか利用できません。</p>
キオスクモード	SMART TeamWorksにキオスクとして機能させるためにコンピューターを最適化するKioskModeのプログラムを実行させるには、このオプションを選択してください。

MART TeamWorks Room and Connected エディションのためのランチャーのカレンダー設定の構成

ランチャー内でカレンダー設定をセットアップしてください。カレンダーを構成する際は、その日にその部屋で予定されているミーティングが表示されます。カレンダーを構成するには以下の情報が必要です:

- Exchangeのバージョン
- ミーティングルームの電子メールアカウントおよびパスワード(これはカレンダーを構成する前にIT アドミニストレータによってあなたの組織の電子メールサービス上で設定されなければなりません)

❗ 重要事項

この情報がないとカレンダー機能は構成できません。

設定の中にはインストールされているSMART TeamWorksのエディションに応じて異なるものがあります。

Room and Connectedエディションのためにカレンダーを構成するには

1. **設定画面**画面からランチャーのタブを開いてください。
2. カレンダー設定のセッションで以下の設定を構成してください:

オプション	説明
カレンダーサービスのタイプ	Microsoft Exchangeを選択してください。
カレンダーの再読み時間(分)	カレンダーが更新をチェックする時間間隔(分)を入力してください。
Exchangeのバージョン	あなたの組織で使用しているMicrosoft Exchangeのバージョンを選択してください。
オンプレミス	Microsoft Exchangeがオンプレミスのサーバーでホストされている場合は、このオプションを選択してください。
オンライン	Microsoft 365を使用している場合は、このオプションを選択してください。
サービスのURL	電子メールのサーバーのサービスのURLを入力してください。

オプション	説明
ミーティングルームのユーザー名もしくはUPN	ミーティングルームのユーザー名は、ミーティングルームのユーザーアカウントのためのユーザープリンシパル名 (UPN)を参照します。UPNがミーティングルームの電子メールと同一の場合は、この欄を空白のままにしておいてください。UPNとミーティングルームの電子メールが異なる場合には、UPNを入力してください。 ミーティングルームのユーザーアカウントのUPNを知らない場合は、あなたの組織のアクティブディレクトリ内のアカウントのユーザーのプリンシパル名の属性をチェックしてください。あなたの組織のアクティブディレクトリへのアクセスが無い場合には、ITアドミニストレータに連絡し、アカウントのUPNを尋ねてください。
ミーティングルームの電子メールアドレス	ミーティングルームのために作成されたルームリソースのアカウントのための電子メールアドレスを入力してください。
ミーティングルームのユーザーのパスワード	ミーティングルームのために作成されたルームリソースのアカウントのためのパスワードを入力してください。

この設定は自動的に保存され、ランチャーはミーティングルームを表示するために更新されません。

注記

変更が表示される前にSMART TeamWorksのソフトウェアを閉じて、もう一度開く必要があるかもしれません。

SMART TeamWorks Serverのクレデンシャル情報を持つ SMART TeamWorks Connectedエディションのためのランチャーのカレンダー設定の構成

あなたの組織がSMART TeamWorks Serverをインストールしている場合は、SMART TeamWorks Connectedエディションのカレンダーを構成するには以下の情報が必要です:

- Exchangeのバージョン (あなたの組織が使用している電子メールサービスがMicrosoft Exchange である場合)
- ミーティングルームの電子メールアカウントおよびパスワード (これはカレンダーを構成する前にITアドミニストレータによってあなたの組織の電子メールサービス上で設定されなければなりません)

! 重要事項

この情報がないとカレンダー機能は構成できません。

SMART TeamWorks Serverのクレデンシャル情報でカレンダーを構成するには

1. [設定画面](#)画面からランチャーのタブを開いてください。

注記

ここで設定を更新すると、設定のタブのRMSウェブポータルセクションは変更と共に自動的に更新されます。

2. カレンダー設定のセッションで以下の設定を構成してください:

オプション	説明
カレンダーサービスのタイプ	RMS Enterpriseを選択してください。
カレンダーの再読み時間(分)	カレンダーが更新をチェックする時間間隔(分)を入力してください。
サービスのURL	SMART TeamWorks ServerのウェブポータルのためのURLを入力してください。例えば、https://outlook.office365.com/EWS/Exchange.asmxなどです。
サービスのユーザー	あなたの組織のSMART TeamWorks Serverのウェブポータルのために作成されたアカウントのためのユーザー名を入力してください。 ヒント このアカウントはあなたの組織のSMART TeamWorks Serverのためのウェブポータルで管理されます。
サービスのパスワード	あなたの組織のSMART TeamWorks Serverのウェブポータル内のミーティングルームのために作成されたアカウントのためのパスワードを入力してください。 ヒント このアカウントはあなたの組織のSMART TeamWorks Serverのためのウェブポータルで管理されます。

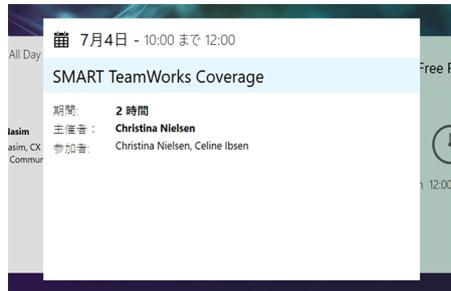
この設定は自動的に保存され、ランチャーはミーティングルームを表示するために更新されません。

カレンダー情報のカスタマイズ

ミーティングルームのカレンダーを構成すると、ランチャーはその日に予定されている全てのミーティングを表示します。ランチャーに表示されるミーティングについての情報をカスタマイズする事ができません。

カレンダー情報をカスタマイズするには

カレンダー設定のセッションで以下の設定を構成してください:



オプション	説明
件名の表示	ミーティングの件名の表示を選択してください。
ミーティングのIDの表示	ミーティングのIDの表示を選択してください。 注記 ミーティングのIDは、SMART TeamWorks Serverがインストールされている場合にのみ表示されます。SMART TeamWorksの他のエディションはカレンダー内にミーティングIDを表示しません。
期間の表示	ミーティングが予定されている期間を表示するために選択してください。
オーガナイザーの表示	ミーティングを予定した人物の名前を表示するために選択してください。
出席者の表示	ミーティングに参加を予定している人々のリストを表示するために選択してください。
アクティブなカレンダーでホワイトボードボタンを隠す	SMART TeamWorksのカレンダーが構成されたら、ランチャーからホワイトボードのボタンを隠すために選択してください。 注記 このオプションは、カレンダーサービスのタイプが RMS Enterprise に設定されている場合にしか利用できません。
ホワイトボード上での共有ミーティング画面の自動表示	ユーザーがランチャーからホワイトボードのセッションを開始した際に、SMART TeamWorksが彼らにホストミーティングのダイアログボックスでプロンプトを表示するを選択してください。ユーザーはホワイトボードのセッションに参加者を招待するために、このダイアログボックスを使用することができます。 注記 このオプションは、カレンダーサービスのタイプが RMS Enterprise に設定されている場合にしか利用できません。

ミーティングサーバーのサービスの構成

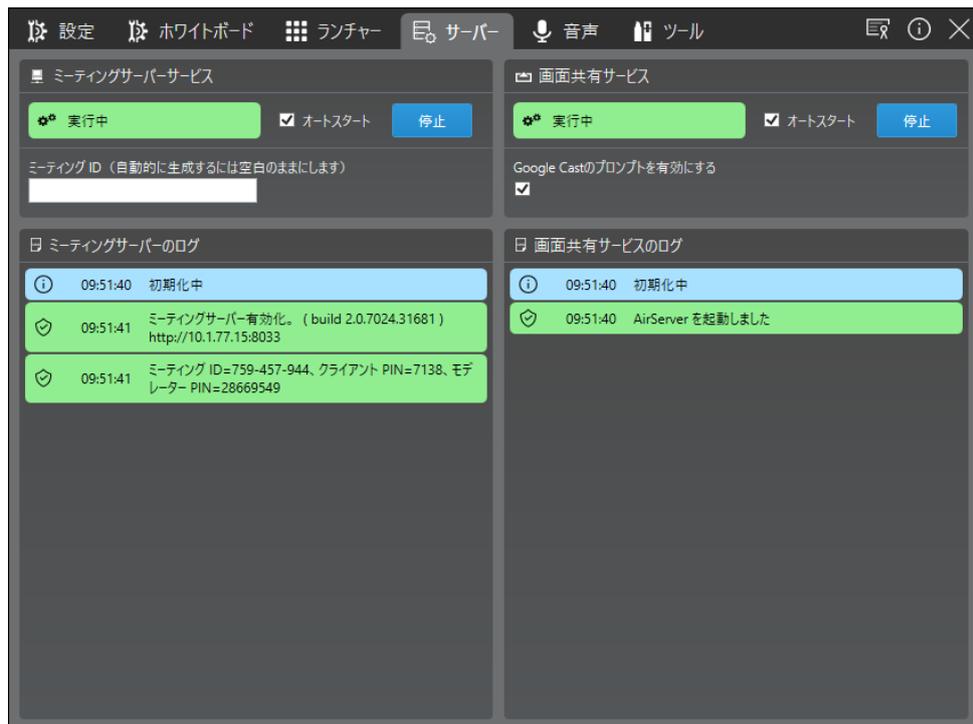
SMART TeamWorks Connectedエディションは独自のミーティングサーバーのサービスを持っています。このサービスはデフォルトで有効化されており、参加者がそれぞれの機器上でSMART TeamWorks Contributorのアプリを用いて、最大で8人までホワイトボードへ接続することができます。また、このサービスはランチャーの上部にミーティングルームのQRコードも表示します。ミーティングの参加者はミーティングに参加するためにそれぞれの機器でQRコードをスキャンすることができます。

注記

- このミーティングサーバーのサービスはSMART TeamWorks Connectedエディションでしか利用できません。
- ミーティングの参加者はそれぞれの機器にSMART TeamWorks Contributorのアプリをインストールして、ミーティングに参加するためにこれを使用する必要があります。

ミーティングサーバーのサービスを開始するには

1. **設定画面** からサーバーのタブを開いてください。



❗ 重要事項

SMART TeamWorks ConnectedエディションとSMART TeamWorks Serverと一緒にインストールしている場合は、ミーティングサーバーのサービスは**RMS Enterprise**のクレデンシャル情報をランチャーのタブに入力する際に自動的に無効化されます。これはSMART TeamWorks Serverが、このローカルのミーティングサーバーサービスの代わりにホワイトボードの接続を管理しているからです。

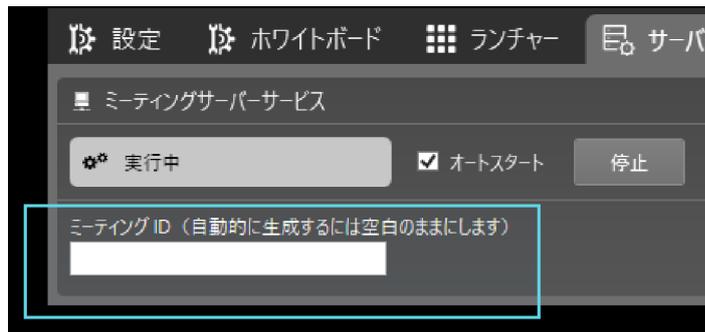
- ミーティングサーバーサービスのセクションで**スタート**をタップもしくはクリックしてください。

ミーティングサーバーサービスが開始され、SMART TeamWorksのランチャーにミーティングルームのQRコードが表示されます。これには数秒かかる事があります。

ヒント

設定のタブを開き、**QRをホワイトボードに常に表示**のチェックボックスを外す事によって、SMART TeamWorksのホワイトボードからQRコードを隠すことができます。

- ミーティングID**の欄に数字を入力してください。この欄を空白のままにすると、ソフトウェアがランダムな数字を生成します。



ミーティングの参加者はミーティング中にホワイトボードへ接続するために、このIDを使用する事ができます。

- SMART TeamWorksの実行中に自動的にミーティングサーバーサービスを開始させるには、**自動スタート**のチェックボックスを選択してください

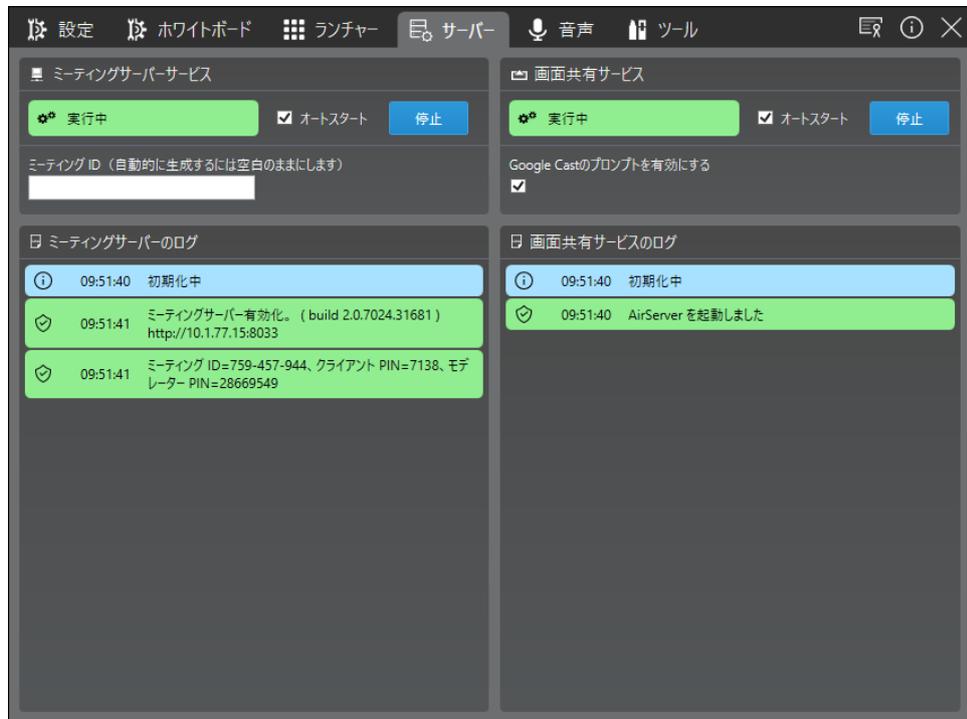
画面共有の有効化

ミーティングの参加者がミーティングルームのSMART Boardのインタラクティブディスプレイに彼らの画面を共有できるように、SMART TeamWorksの画面共有機能を構成してください。

画面共有機能をセットアップするには、画面共有サービスを有効にする必要があります。

画面共有サービスを開始するには

1. **設定画面** からサーバーのタブを開いてください。



2. **画面共有サービス**のセクションで**スタート**をタップもしくはクリックしてください。
3. **Google Castのプロンプトの有効化**のチェックボックスを選択してください。

これによって参加者が画面共有のためにGoogle Castを使用する機器を持っているとき、ディスプレイに表示されるプロンプトが有効化されます。

ヒント

AirPlayとMiracastのためのPIN認証を有効化し、**Windowsの設定 > このPCへの投影**を開き、**ペアリングのためにPINを要求を有効にしてください**。

4. SMART TeamWorksの実行中に自動的に画面共有サービスを開始させるには、**自動スタート**のチェックボックスを選択してください

注記

ネットワーク環境をセットアップする上での追加情報と、画面共有のために使用されるポートについては 8 ページSMART TeamWorksの**画面共有機能のためのネットワーク環境のセットアップ**を参照してください。

5. 以下のアプリが許可されている事を確かめるためにコンピューターのファームウェアをチェックしてください。

名前	ドメイン	プライベート	パブリック
SMARTTeamWorks Server	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
AirServer®	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

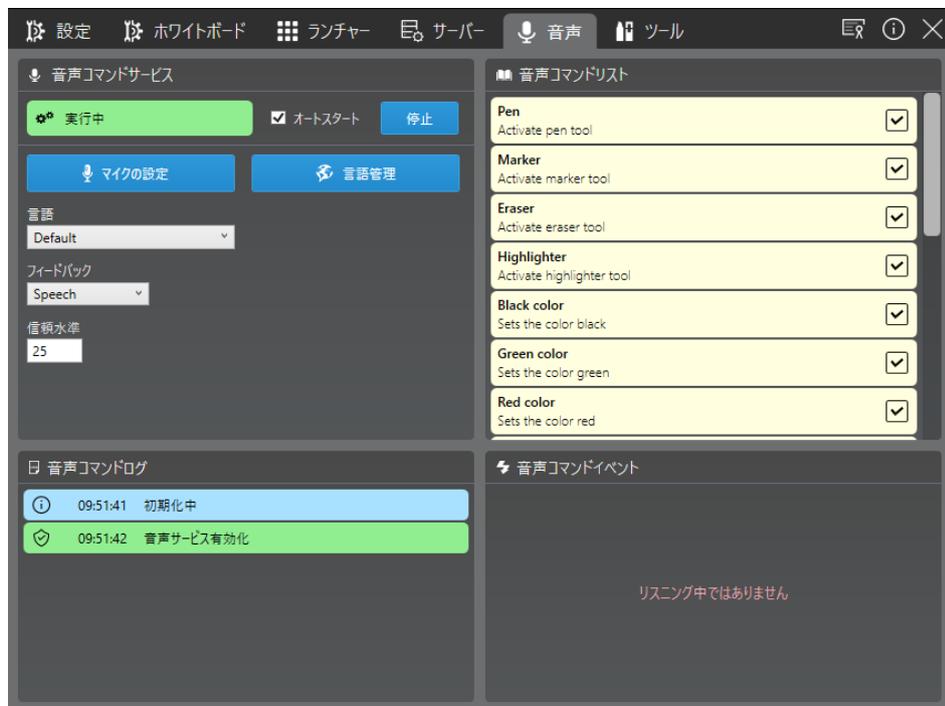
6. Norton™ Securityや、Kaspersky™、McAfee®などの全てのサードパーティーのセキュリティアプリケーションのセキュリティ設定をチェックし、以下のアプリケーションを許可してください。
- SMARTTeamWorks Server
 - AirServer

音声コマンドの構成

一般的なタスクを素早く完了するためにSMART TeamWorksで音声コマンドを使用しましょう。音声コマンドを使用する前に、音声コマンドサービスを起動し、マイクのアクセスと音声認識を有効化しましょう。

音声コマンドサービスを開始するには

1. **設定画面** から **音声** のタブを開いてください。



2. **音声コマンド** のセクションで**マイクの設定**のボタンをもしくはクリックし、Windowsの**音声の設定**のダイアログボックスを開き、音声コマンドを拾うために使用されるマイクを構成してください。

3. 言語のドロップダウンから言語を選択してください。デフォルトを選択するとコンピューターのデフォルト言語を使用します。

❗ 重要事項

このリストに言語を追加するには、Windows10のための言語パックをダウンロードおよびインストールしてください。この言語パックには音声が含まれていなければなりません。44 ページ言語設定の変更を参照してください。

4. スタートのボタンをタップもしくはクリックしてください。
音声コマンドサービスがスタートします。音声コマンドのリストで利用可能な音声コマンドのリストが閲覧できます。
5. SMART TeamWorksが実行されている際に自動的に音声コマンドを有効化するには、**自動スタート**のチェックボックスを選択してください。

特定の音声コマンドの有効化もしくは無効化

1. **設定画面** から音声のタブを開いてください。
2. 音声コマンドのリストの中で有効化もしくは無効化したい音声コマンドまでスクロールしてください。
3. 有効化したい場合はチェックボックスをチェックし、無効化したい場合はチェックボックスを外してください。

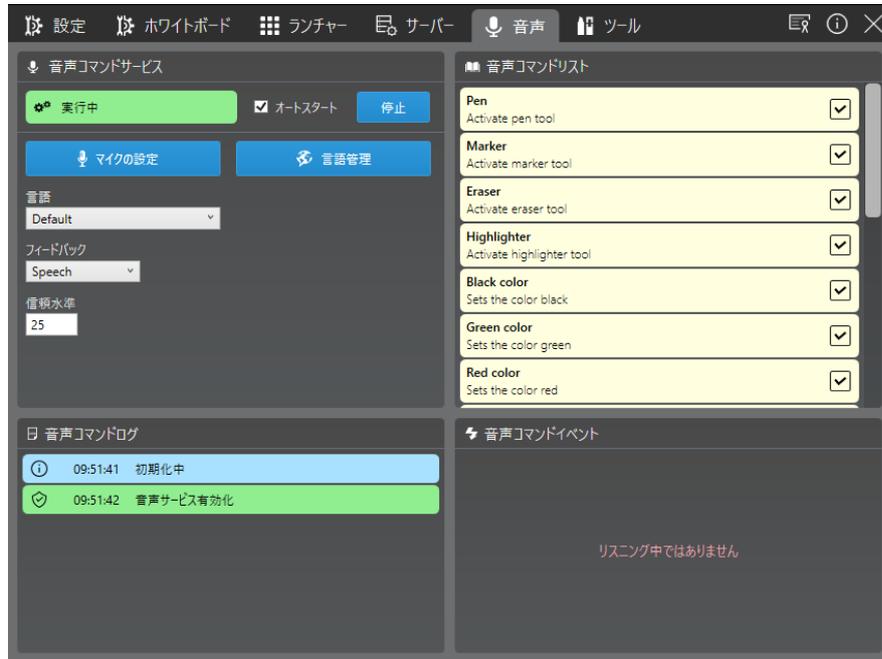
言語設定の変更

異なる言語で音声コマンドをサポートするために言語設定を変更してください。利用可能な言語はコンピューターにインストールされている言語パックに依存し、あなたの源のためにはXML ファイルも必要です。デフォルトでは、SMART TeamWorksは以下のXML 言語ファイルを提供しています。

- 日本語
- 中国語 (簡体字)
- フランス語 (フランス)
- ドイツ語 (ドイツ)
- イタリア語 (イタリア)
- 日本語
- ポルトガル語 (ブラジル)
- スペイン語 (スペイン)
- ロシア語

言語 パックをインストールするには

1. **設定画面** から **音声** のタブを開いてください。



2. **音声コマンド**のセクションで**言語の管理**のボタンをタップもしくはクリックしてください。
Windows の **地域言語**のダイアログボックスが開きます。
3. **言語**から**言語の追加**をタップもしくはクリックしてください。
4. ダウンロードしたい**言語パック**を見つけ、**選択**してください。
5. *Windows10*の**音声設定**を開くには**音声**をタップもしくはクリックしてください
6. **音声言語**で**音声コマンド**のために使用する**言語**選択してください。

マイクのセットアップと有効化

音声コマンドを使用するには、最初にマイクをセットアップする必要があります。また、*Windows*の**プライバシー**設定でSMART TeamWorksにマイクへのアクセスを許可するためにマイクを有効化する必要があります。最後に*Windows*の**音声サービス**を有効化します。

マイクのセットアップおよびテストをするには

[Windows10におけるマイクのセットアップとテストの方法](#)を参照してください。

マイクを有効化するには

1. *Windows*の**スタートメニュー**から **設定**をクリックし、*Windows* **設定**を開いたら、**プライバシー**を選択してください。
2. **アプリの許可**以下から**マイク**を選択してください。

3. アプリにマイクの使用を許可するのオプションを有効化してください。
4. マイクが正しくセットアップされた事を確かめるためにテストしてください。[Windows10におけるマイクのセットアップとテストの方法](#)を参照してください。

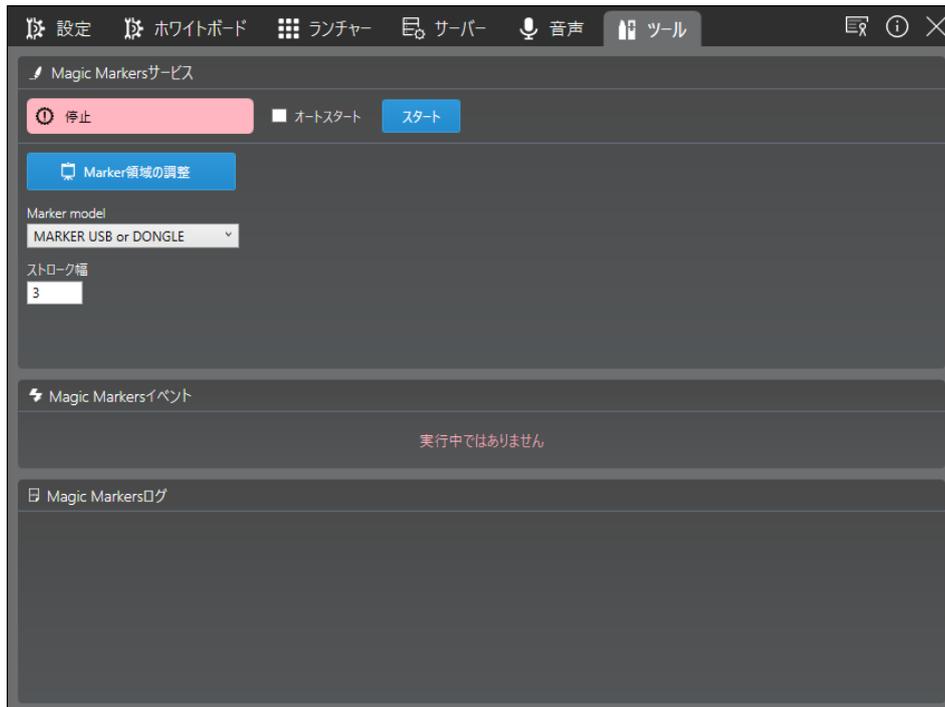
speech to textの有効化

1. Windowsのスタートメニューからをクリックし、Windows設定を開いたら、**プライバシー**を選択してください。
2. Windowsの許可の下で**スピーチ、手書き入力、& タイピング**を選択してください。
3. **スピーチサービスとタイピングサジェスションの有効化**をクリックしてください
4. スピーチサービスを有効化した事を確認するために、表示されるダイアログボックス内の**有効化**をクリックしてください。

サードパーティのツール

設定画面のサードパーティーのツールのタブはサードパーティーのRe Mago Magic Markerのツール (remago.com)を構成するために使用されます。あなたの組織が購入を済ませ、Re MagoのMagic Marker Toolsを使用している場合にのみ、このサービスを開始してください。

Re MagoのMagic Markerのツールの1つを使用しているのではない限り、このサービスを有効化する事によってSMART TeamWorksの起動に問題が発生する可能性があります。この理由から、Magic Markerのツールを使用しているのではない限り、このサービスを開始せず、自動スタートのチェックボックスをチェックした事をお確かめください。



第 5 章

SMART TeamWorksのカスタマイズ

ランチャーのタイトルバーのロゴのカスタマイズ	49
ランチャーの背景のカスタマイズ	49
ランチャーのアプリのカスタマイズ	51

このチャプターではSMART TeamWorksのインターフェイスをカスタマイズする方法を説明します。SMART TeamWorks は以下のような様々な方法でカスタマイズすることができます。

- タイトルバーに表示されるSMART TeamWorksのロゴを置き換える
- ランチャーの背景のためにカスタム背景を選択する
- ランチャーのホーム画面とアプリケーションのランチャーに表示されるアプリケーションを選択してください。

ランチャーのタイトルバーのロゴのカスタマイズ

あなたの組織のロゴを表示させるためにランチャーのタイトルバーのSMART TeamWorksのロゴを変更することができます。



このカスタムロゴは透明な背景を持つPNGフォーマットの画像でなければなりません。

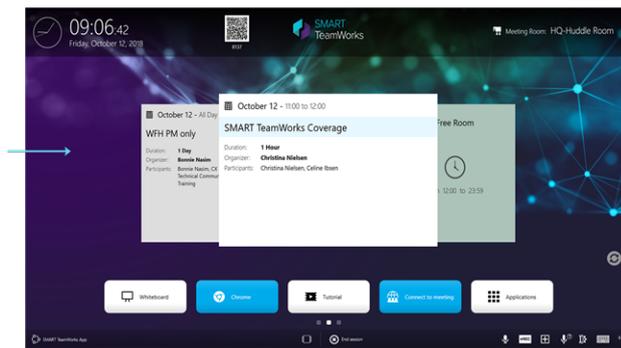
ロゴをカスタマイズするには

1. **logo.png**として使用したい画像ファイルを保存してください。
2. Windowsのファイルエクスプローラーを開き、**C:\Program Files\SMARTTeamWorks**をブラウザしてください。
3. 既存の **logo.png** ファイルをカスタム画像と置き換えてください。

ランチャーの背景のカスタマイズ

SMART TeamWorksのデフォルトのランチャーの背景をあなたの組織のためにカスタマイズした背景に変更することができます。

第 5 章 SMART TEAMWORKSのカスタマイズ



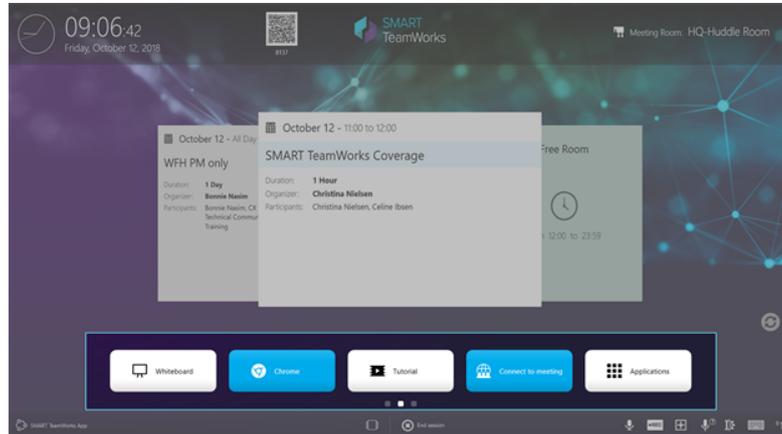
カスタム背景は1920 × 1080のPNGフォーマットの画像でなければなりません。

背景をカスタマイズするには

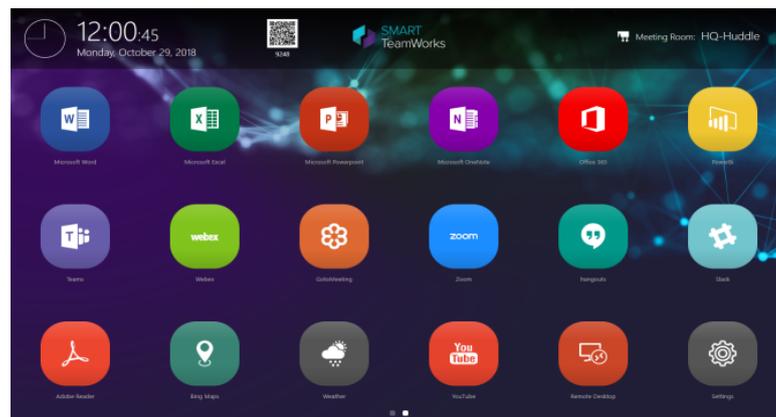
1. **homeback.png**として使用する画像ファイルを保存してください。
2. Windowsのファイルエクスプローラーを開き、**C:\Program Files\SMARTTeamWorks**へアクセスしてください。
3. 既存の**homeback.png**のファイルをカスタムバージョンで置き換える。

ランチャーのアプリのカスタマイズ

ランチャーから利用可能なアプリの追加、編集、もしくは削除ができます。いくつかのアプリは素早いアクセスのためにランチャーのホーム画面に表示されます。



このホーム画面で左にスワイプすると、追加の一般的なアプリを持つアプリケーションランチャーが表示されます。



両画面上のアプリは組織のニーズに合わせてカスタマイズできます。

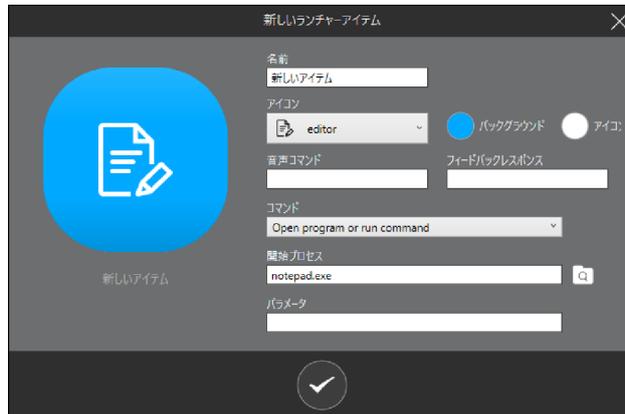
⚠️ 注意事項

SMART はホーム画面からホワイトボードのアプリを編集もしくは削除する事を推奨していません。

新しいアプリの追加

1. **設定画面**画面からランチャーのタブを開いてください。
2. ランチャーの項目のセクションで  をタップしてください。

新しいランチャーの項目のダイアログボックスが開きます。



3. 以下の設定を完了してください:

フィールド	説明
名前	新しいアプリの名称を入力してください。
アイコン	ドロップダウンのリストからアプリのアイコンを選択してください。
背景とアイコン	アプリのボタンの背景とアイコンの色を選択してください。
音声コマンド	(任意)音声コマンドを有効化している場合は、アプリを開く音声コマンドを入力してください。例えば、「Chromeを開け」などです。
フィードバックの応答	(任意)音声コマンドを有効化している場合は、ソフトウェアがアクションを完了した際に使用するソフトウェアの応答を入力してください。例えば、あなたが「Chromeを開け」と言い、ソフトウェアがChromeのブラウザを開いた際に、ソフトウェアに「Chromeを開きました」と応答させるなどです。
コマンド	ユーザーがタップもしくは音声コマンドでアプリを開いた際にアプリに実行させたいコマンドを選択してください。 プログラムを開く、もしくはコマンドの実行 を選択した場合は、アプリのために追加のオプションをセットアップする必要があるかもしれません。
プロセスの開始	プログラムを開く、もしくはコマンドの実行 をコマンドのリストから選択した場合には、アプリに実行させたいプログラムもしくはコマンドをブラウザするために、  をタップしてください。
パラメーター	プログラムを開く、もしくはコマンドの実行 をコマンドのリストから選択した場合には、ここに求められたパラメーターを追加してください。

4. 新しいアプリを保存するには  をタップしてください。

新しいアプリがアプリケーションランチャーに追加されます。ランチャーのホーム画面に移動させるには、タップおよびドラッグをしてください。ホーム画面には最大で5つのアプリを置くことができます。

ヒント

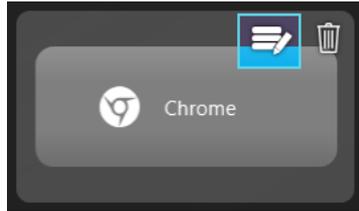
設定のダイアログボックスから  をタップしてランチャーの項目のセクション内の新しいアプリのテストをする事ができます。

既存のアプリを編集するには

1. ランチャーのタブから**設定画面**でランチャーの項目のセクションで編集したいアプリを見つけたら、をタップしてください。

または

ランチャーから、編集したいアプリをタップおよびドラッグしたら、表示される編集アイコンをクリックしてください:



注意事項

SMART はホーム画面からホワイトボードのアプリを編集もしくは削除する事を推奨していません。

2. ニーズに合わせて項目を編集してください。
3. 変更を保存するには  をタップしてください。

ヒント

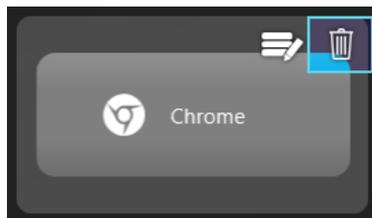
ランチャー内でアプリの位置を移動させるには、アプリを押しっぱなしにして、新しい位置までドラッグしてください。

アプリを削除するには

1. ランチャーのタブから**設定画面**でランチャーの項目のセクションで削除したいアプリを見つけたら、をタップしてください。

または

ランチャーから、削除したいアプリをタップおよびドラッグしたら、表示されるゴミ箱アイコンをクリックしてください:



 **注意事項**

SMART はホーム画面 からホワイトボードのアプリを編集もしくは削除する事を推奨していません。

2. このアプリを削除するには  をタップしてください。

SMART TECHNOLOGIES

smarttech.com/support

smarttech.com/contactsupport

smarttech.com/ja/kb/171409